中学校【外国語科】「主体的・対話的で深い学び」の手引き

飛騨教育事務所

1 外国語科における「主体的・対話的で深い学び」のとらえ

「主体的な学び」・・・	目的や場面、状況等に応じて、積極的にコミュニケーションを図る学び
「対話的な学び」・・・	自分の考えや気持ちを、相手や他者に配慮しながら伝え合うことができる学び
「深い学び」 ・・・	コミュニケーションを通して、自分の考えを再構築することができる学び

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目し て捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、 再構築すること。

2	「主体的・対討	舌的で深い学び」の例 NEW HORIZON English Course2 Presentation2 町紹介より
つかむ	・ 設定 ミュシ テンの 場等 で る。 解す る。	【主体的な学び】Oral interactive introduction ・「どんな目的で」、「どんな場面や状況で」、「誰に」を明確にする。 例:(目的)自分の町にたくさんの外国人観光客に来てもらうために、 (場面)町PRパンフレットをつくる (状況)観光大使として (誰に)日本を初めて訪れる外国人に ・伝えたい内容をもつ。(内容が先、英語は後) 例:(内容)おすすめの場所や食べ物、体験してほしい習慣や伝統行事など
て意をる方決ミーのを 目た的 ユージ見立 ゆめん ユー	・ 目て意をる方決ミーのを 目た で性しニョ通て 達、 たやどすのを、 ケンしる 成具 に 報な信で性しこョ通て 、 成のの の の の の の の の の の の の の	 【主体的・対話的な学び】活動1 ・既習内容を駆使して、コミュニケーションする。(活動が先、指導は後) 例:S1:I live in Takayama. My city is famous for old town. There are many old houses and traditional buildings. You can enjoy. S2: I live in Takayama. My city is famous for delicious food. Takayama ramen is one of them. It's very delicious. 【対話的な学び】中間交流 ・内容の質を高めるための手立てと Common error などを共有する。 例: T: Do you have any questions? (つまずきを解消する) S3:「小京都と呼ばれていることを伝えたい。」 T: How can we say? S4:「We call~が使えそう」(既習内容を想起させる) T: Yes. We can say, "We call Takayama small Kyoto".
	的なコミ ュニケー ションを	【深い学び】活動2 ・中間交流を通して共有したことをもとに、コミュニケーションする。 例:S1:I live in Takayama. It's center of Japan. My city is famous for old town. It's called "Small Kyoto". There are many old houses and traditional buildings. You can see beautiful buildings and traditional Japanese
まとめる	としていまため。 と振り返 りを行う	 buildings. You can feel traditional Japan. (高山市の位置や古い町並みでできることが加わる) S2: I live in Takayama. It's north of Gifu. My city is famous for delicious food. Takayama ramen is one of them. The taste is clear and simple. It's very delicious. (高山ラーメンの味を詳しく伝えている) 【主体的・対話的な学び】振り返り ・内容面と言語面から振り返りを行う。 例:「初めて日本を訪れる外国人に高山市をPRするために、おすすめの場所やお すすめの食べ物について、その魅力を詳しく伝えることができた。」(内容面) 発話したことを町PRパンフレットとして書きまとめる。(言語面)